

モニタリングの対象期間  
H31.4.1～R2.3.31

## モニタリング結果の概要

1	施設名	松山市湯山福祉センター(知的障害者福祉センター)		施設数 1	4	評価区分	担当課	指定管理者		
	指定管理者	(社福)松山市社会福祉事業団			施設利用状況	2	3			
	職員数	常勤	6		非常勤	1	職員配置	3		4
	指定期間	H31.4.1 ~ R6.3.31			管理状況	コスト縮減	3	4		
	担当課	障がい福祉課			収益	2	3			
	2	主な業務	障害者生活介護事業			設備等管理	3	4		
			危機管理		3	3				
			自主事業の実施		-	-				
			サービス向上		3	4				
			利用者評価		4	4				
3	事業収支 (千円)			利用者数	5 サービス向上のための取組み(実績)					
		コスト	収益		H29年度	アンケート調査(2回/年)を行い、ニーズの把握に努め、ニーズが高かった室内外での健康活動、郵便局での貯金活動、スーパーでの買物活動等を実施し、公共の場でのマナーや、ルールが守れるよう支援した。				
	導入前	39,694	37,044		H30年度	6 前年度の課題と改善策				
	H30年度	46,212	26,672		R1年度	7 担当課コメント(評価・指摘事項)				
	R1年度	43,291	22,560		対前年度比	アンケート結果を基に、ニーズの高い活動を積極的に実施することで、利用頻度や収入の増加につなげていく。併せて、新しい生活様式を実践するなど、新型コロナウイルス対策に十分に取組んだ上で、サービスを提供していく必要がある。				
	対前年差	▲ 2,921	▲ 4,112			利用者のニーズが高い買い物、レクリエーション、機能訓練等、社会参加や健康増進のサービスを実施しており、今後も利用者の年齢、健康状態、家庭状況等に応じたきめ細やかな支援を継続していただきたい。				
	対導入前差	3,597	▲ 14,484		84.5%					

### 1 【職員数】

現在、施設を維持管理するために配置されている指定管理者の職員数です。

### 2 【主な事業】

指定管理者がこの施設で行っている業務・活動内容です。

### 3 【事業収支(コスト・収益)】

指定管理者制度導入前や導入後(R1・H30)の指定管理者と市のコスト・収益の合算額を表示しています。「対前年差」は「R1年度実績-H30年度実績」、「対導入前差」は「R1年度実績-導入前の実績」の計算により算出しています。これらの差がマイナスの場合は、「▲」の表記をしています。

### 4 【5段階評価】

9項目についての、担当課と指定管理者の評価です。

《判定基準》

- 5: 指定管理者のノウハウや努力により、目標水準を大きく上回る成果が得られた。
- 4: 協定や仕様書を遵守の上、目標水準をやや上回った。
- 3: 協定や仕様書の内容とおり業務を履行し、目標水準どおりだった。
- 2: 概ね協定や仕様書どおりの業務を履行したが、目標水準をやや下回った。
- 1: 市の指導・助力・助言等を受けても、協定や仕様書の内容を遵守できておらず、得られた成果は、目標水準を大きく下回っていた。

### 5 【サービス向上のための取組み(実績)】

指定管理者が実施したサービス向上のための取組みや自主事業を挙げています。

### 6 【前年度の課題と改善策】

指定管理者と担当課が認識している前年度(R1)の課題と、今後の改善策の内容です。

### 7 【担当課コメント(評価・指摘事項)】

前年度(R1)の指定管理者の業務に対する評価事項、改善すべき指摘事項についての担当課のコメントです。

《9つの評価項目の内容》

- 施設利用状況…施設利用者数の実績
- 職員配置…効率的な業務実施のための的確な職員配置
- コスト縮減…管理経費縮減の実績、指定管理料の適正な執行等のコスト縮減に向けた取組み
- 収益…収益実績、料金設定の見直し、PR等の収益増に向けた取組み
- 設備等管理…台帳の作成や目視確認、不具合の抽出等、施設・設備・備品の適切な管理
- 危機管理…マニュアル整備や訓練の実施等
- 自主事業の実施…指定管理者の経費負担、企画立案で実施した取組み
- サービス向上…サービス水準維持・向上のための取組み
- 利用者評価…利用者アンケート等による評価